

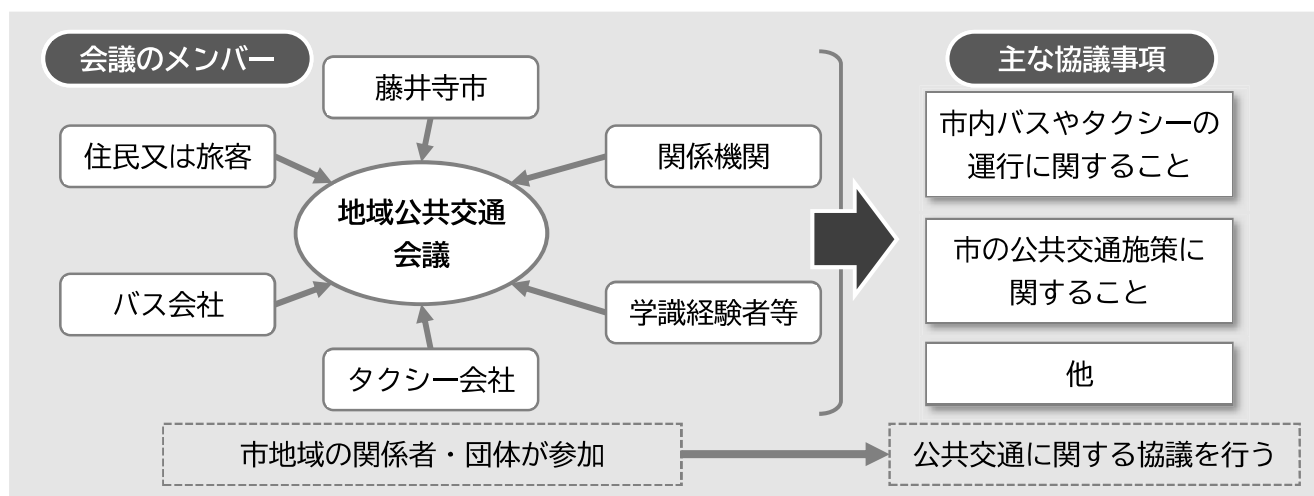
藤井寺市公共施設循環バスのあり方に関するご意見募集

日頃より本市行政にご協力いただき誠にありがとうございます。この度、本市の将来を見据えた公共交通のあり方について検討を進めるため、令和6年8月に「藤井寺市地域公共交通会議」を設置しました。

この会議では、藤井寺市内の公共交通（バス・タクシーなど）について、地域の交通事業者を交えて様々なことを考え、協議します。

現在、会議では 市の『公共施設循環バス』のあり方 について協議を行っています。

【地域公共交通会議】



ご意見募集について

市の『公共施設循環バス』を
今後、どのように見直していくか？

市民の皆さまのご意見を広く募集します。

- ◆公共施設循環バスの見直しにご意見のある方は、別紙調査票に必要事項ご記入のうえ、所定の方法でご提出ください。
- ◆提出されたご意見は、外部に対して公表（個人情報等を除く）することがあります。あらかじめご了承ください。
- ◆本調査は、今後、藤井寺市が公共施設循環バスに関する施策を見直すための参考とさせていただくものです。ご意見（又はご要望）いただいた内容の実施・実現を約束するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

配布場所

調査票は、以下の場所で配付します。

【配布場所】

- ・市ホームページ
- ・市役所本庁1階情報交流ひろば「ふらっと」
- ・ふれあいセンター（福祉会館）
- ・アイセルシュラホール1階
- ・市民総合体育館
- ・図書館
- ・保健センター1階
- ・老人福祉センター松水苑
- ・道明寺南郵便局
- ・沢田郵便局
- ・北条郵便局

募集期間

令和6年 9月25日(水) ～ 令和6年10月25日(金)

提出方法

○下記に設置している回収箱に投函して下さい。開館時間は各施設をご確認下さい。

- ・市役所本庁1階情報交流ひろば「ふらっと」
- ・ふれあいセンター（福祉会館）
- ・アイセルシュラホール1階
- ・市民総合体育館
- ・図書館
- ・保健センター1階
- ・老人福祉センター松水苑
- ・道明寺南郵便局
- ・沢田郵便局
- ・北条郵便局

○以下の方法でもご提出いただけます。

・郵便

〒583-8583 藤井寺市岡1-1-1 藤井寺市役所 まち建設課 行
(令和6年10月25日の消印まで有効)

・電子メール

machiken@city.fujiidera.lg.jp

※1 市ホームページの「藤井寺市公共施設循環バスのあり方に関する市民意見募集について」に掲載しております「(回答用紙のみ) 市民意見募集」のデータをご利用下さい。

※2 件名を「公共施設循環バスのあり方に関する調査」として下さい。
(令和6年10月25日 17:30までの受信分が有効)

・持参

市役所まち建設課(40番窓口)までご提出下さい。

(開庁時間 午前9時から午後5時30分まで 土曜日・日曜日・祝日を除く)

記入方法

- ・別紙「藤井寺市公共施設循環バスのあり方に関する市民意見募集について」を参考としてご記入下さい。
- ・なるべく空欄のないよう記入をお願いします。
- ・提出は1人1回まで、藤井寺市内に在住・勤務する方を対象とした募集となります。

(お問合せ先)

藤井寺市都市整備部まち建設課 土木計画・交通政策担当

T E L 072-939-1199 F A X 072-952-9504

E-Ma i l machiken@city.fujiidera.lg.jp

1. 背景

公共交通とは、地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや、個性・活力ある地域の振興を図る上で欠かせないものです。

本市では、近鉄南大阪線や道明寺柏原線の鉄道網と路線バス、タクシー、そして藤井寺市が運行する無料の公共施設循環バス等によって、公共交通のネットワークが構築されています。

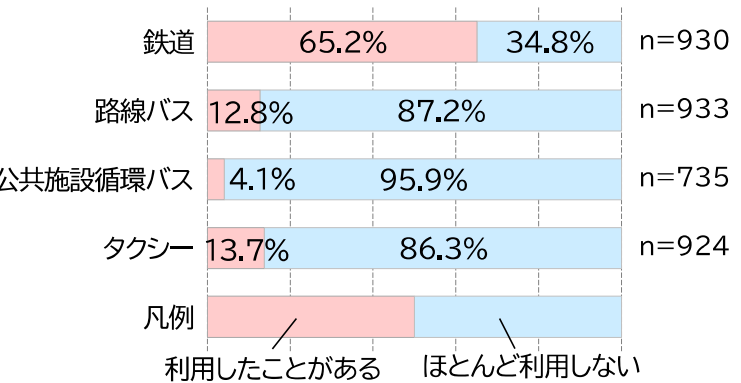
一方、近年の人口減少の本格化や運転手不足の深刻化、公共交通を確保・維持するための公的負担の増加等により、全国的にも公共交通の維持が大きな課題となっています。

2. 市の現状と課題

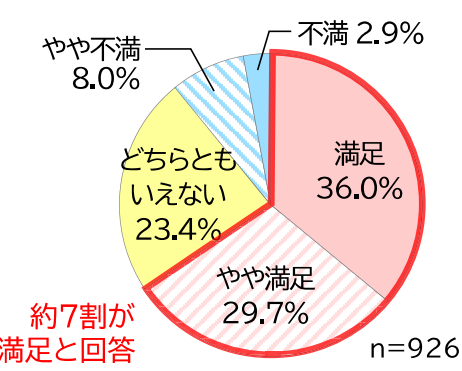
本市では、令和3年度に「公共交通及び公共施設循環バスに関するアンケート調査」を実施しました。（調査結果については、市ホームページに掲載。）

この調査によると、回答者の約7割が「日々の生活における外出時の移動」について「満足」「やや満足」を示していますが、公共交通の利用状況は鉄道以外は、10%前後の利用状況となっています。「外出目的」については、過半数が「買い物」、続いて通院と娯楽レジャーがいずれも15%前後の回答となっています。

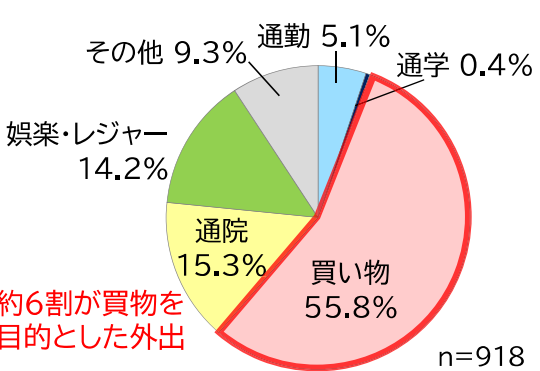
●公共交通の利用状況



●日々の生活における外出時の移動の満足度



●外出目的（二番目によく行く場所や行動）



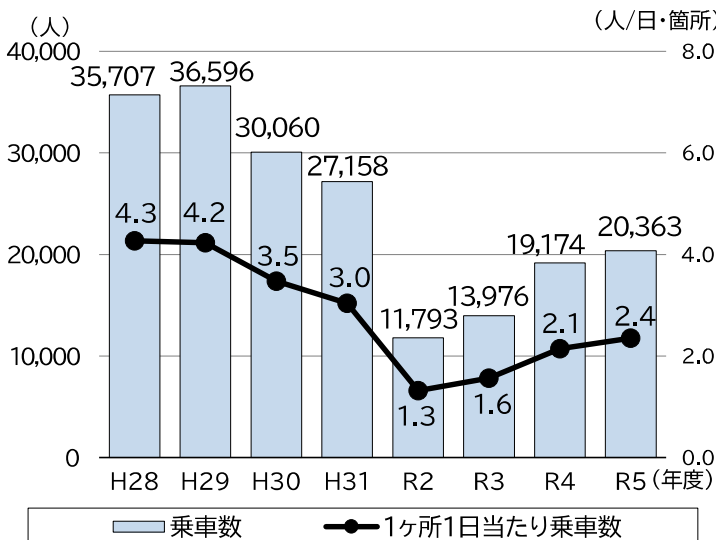
3. 公共施設循環バスの課題

本市の公共施設循環バス（以下、循環バスという）は、平成6年に運行を開始し、平成28年からの乗車人数の推移を見ますと、コロナ禍前の平成29年度をピークに減少し、令和5年度では年間約2万人となっており、乗車数は戻ってきていない状況です。

公共施設循環バスは、公共施設の利用者向けという目的から買い物等に利用できず、利用者也44歳以下の利用はない状況です。また、「利用したことがない」との回答は約80%で、「ほとんど利用したことがない」を含めると約96%となっており、利用率が低く留まっていることから、時代のニーズに合っているとはいえない状況にあると思われます。

公共施設循環バスの今後の運営については、「現状維持」は利用しているが約27%、利用していないが約19%と、7割以上が公共施設循環バスの見直しまたは縮小意向の回答となっています。本市ではこの公共施設循環バスの運行について見直しを検討していきます。

●市内公共施設循環バスの乗車人数の推移

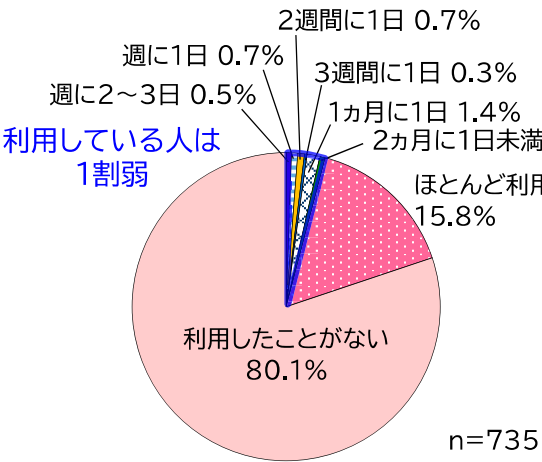


●公共施設循環バスの利用状況（年齢別）

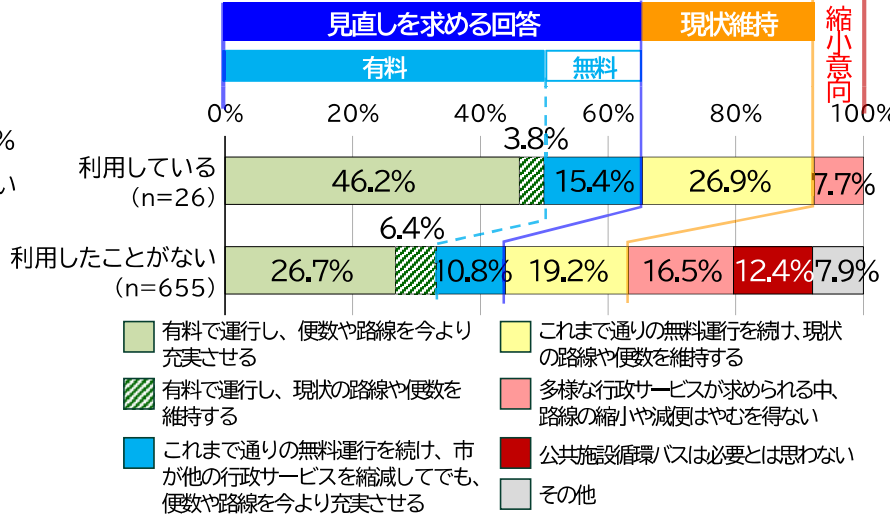
年齢	利用している	利用したことがない※	n
全体	4.1%	95.9%	735
24歳以下	100%		25
25歳～34歳	100%		33
35歳～44歳	100%		68
45歳～54歳	0.7%	99.3%	139
55歳～64歳	0.8%	99.2%	121
65歳～69歳	1.6%	98.4%	63
70歳～74歳	5.0%	95.0%	120
75歳以上	12.7%	87.3%	158
凡例	利用している	利用したことがない※	

※「利用したことがない」と「ほとんど利用したことがない」の合計の割合

●公共施設循環バスの利用頻度



●公共施設循環バスの今後の運営について



※記載のデータは、住民アンケート(R3(2021)年度)の結果より抜粋。

4. 地域公共交通会議の設置

このような状況のなか、本市も将来を見据えた公共交通のあり方について検討を進めるため、令和6年8月に「藤井寺市地域公共交通会議」を設置し、「公共交通の維持・継続を図る施策検討」、「公共施設循環バスのあり方の検討」、「行政と交通事業の関係者による連携の推進」の3項目について今後、議論を進めていきます。

まずは「公共施設循環バスのあり方の検討」について、今後の更なる高齢化社会の進展を見据え、利用者のニーズも考慮しながら柔軟に対応していく必要があり、これまでの住民アンケートの傾向から、利用目的に制限のないコミュニティバスの活用や、利用者の要望を運行に反映できるデマンド型・オンデマンド型の交通手法などが候補として挙げられます。

ウラ面の意見募集にご協力ください

公共施設循環バスの見直し検討について

公共施設循環バスのあり方を検討するために、現在の運行内容や利用状況を踏まえ、考えられる運行内容についてそれぞれの特徴を比較しています。

公共施設循環バス(現在の運行内容)

- 公共施設の利用者向け(買い物等に利用できない)に無償で運行
 - 運行ルート： 市内の北側・南側を1日8便で運行
(それぞれ1周1時間のショートコースと2時間のロングコースあり)
 - 運行コスト： バス2台 約1,750万円(運行業務、バス借上等)

新たな公共交通施策(未来に向けての検討)

従来の公共施設のみだけではなく**買い物利用など多目的に利用できるものとし、有償で運行**

■バスならどのように運行する？



マイクロバスタイプ or 路線バス(小型)
(定員25~35人程度)

- ・路線バスと同じ利用方法で、予約の必要がなく、**定時・定路線のため分かり易い。**
- ・道路幅員の狭い地域の運行が困難。

▶路線定期運行(予約**不要**)

所定の運行ルートや停留所で乗降を行う

▶バス1台 約2,000万円
(運行業務、燃料費、車両維持管理費等)

※初期経費に車両代別途約2,000万円必要となる
※運賃収入は含んでいない。

■タクシーならどのように運行する？



ワンボックスタイプ
(定員10~13人程度)



セダンタイプ
(定員3~4人程度)

デマンド型	オンデマンド型
▶路線不定期運行(予約必要) 所定の運行ルートや停留所で乗降を行うが、予約があった場合のみ運行する ▶予約時のみ運行 ▶タクシー1台 約820万円(全便運行した場合) ※運賃収入は含んでいない。 ※既存の車両を利用ではなく新たに車両が必要となる場合は別途費用が必要となる ・道路幅員の狭い地域の運行が可能。 ・バスより自宅に近い停留所を設定できる。 ・デマンド型は運行した台数でのコストとなるため、経費を抑えられる。 ・予約の煩わしさがある。 (事前(前日又は当日●時間前)の予約が必要) ※●については今後事業者と調整	▶区域運行(予約必要) 運行ルートは定めず、予約に応じ所定の停留所間をAIで効率的な最短経路を結ぶ ▶予約時のみ運行 ▶タクシー1台 約2,000万円 (運行業務、システム・コールセンター等) ※運賃収入は含んでいない。 ※既存の車両を利用ではなく新たに車両が必要となる場合は別途費用が必要となる ・道路幅員の狭い地域の運行が可能。 ・バスやデマンド型より、ドアツードアに近いサービスが提供できる。 ・予約の煩わしさがある。 ・予約時のみの運行であるが、予約がない場合でも待機しておく必要があり、固定で経費が発生する。

より良い公共交通施策としていくため、皆様のご意見をお聞かせ下さい

■あなた自身について

Q1. あなたのお住まいについて _____ 市 _____ 丁目
(記入例: 藤井寺 市 岡1 丁目 , 藤井寺 市 船橋町 など)

Q2. あなたの年齢について (該当するものに○を一つ)
① 20歳未満 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代
⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳代

Q3. 現在、運行している公共施設循環バスを利用したことはありますか。
(該当するものに○を一つ) ①ある ②ない

■公共施設循環バスに変わる新たな公共交通施策として、検討している以下の内容について、該当するものについて「○」をつけるか、または()内にご記入ください。

Q4. 買い物や通院など多目的利用での有償運行について、どのように思いますか。(一つに○)
① 多目的利用ができ、利便性があがるのであれば有償化でも構わない
② 無償での運行がいいが、公共交通の維持ができないのであれば、有償化はしかたがない
③ どちらかといえば、有償化となるなら公共施設のための今のままの運行の方がよい
④ その他 ()

Q5. 検討している導入施策として、利用時に予約することについてどうですか。(一つに○)
① 特に気にしない ② 煩わしさはあるが、予約での運行でもよい
③ 予約方法が簡単であれば、予約での運行でもよい ④ 便利となるならどちらでもよい
⑤ どんな理由であれ予約なしの方がよい
⑥ その他 ()

Q6. 公共交通施策について、左の「新たな公共交通施策(未来に向けての検討)」を参考に、導入施策としてどのようなものがいいですか。(一つに○)
① 今の公共施設循環バスで予約なしで定時定路線で運行する方がよい
(現状同様、買い物等に利用できない)
② 有料であっても、バスで運行する方がよい(予約不要、路線バスと同様)
③ 有料であっても、デマンド型で運行する方がよい(予約必要、定時定路線で運行)
④ 有料であっても、オンデマンド型で運行する方がよい(予約必要、停留所間を自由に運行)
⑤ 自宅から利用できる位置に停留所が設置されるならどんなものでもよい
⑥ その他 ()

Q7. その他、公共施設循環バスについて、ご意見等ございましたら、ご記入下さい。

提出方法

○下記に設置しております回収箱に投函して下さい。

市役所本庁 1 階情報交流ひろば「ふらっと」	ふれあいセンター (福祉会館)	アイセルシユラホール 1 階
市民総合体育館	図書館	保健センター 1 階
道明寺南郵便局	沢田郵便局	北条郵便局

○以下の方法でもご提出いただけます

- ・郵便の場合：〒583-8583 藤井寺市岡1-1-1 藤井寺市役所 都市整備部 まち建設課 行 (令和6年10月25日まで有効)
- ・電子メール：machiken@city.fujidera.lg.jp 市ホームページの「市民意見募集」に掲載しておりますデータをご利用下さい。
件名を「公共施設循環バスのあり方に関する調査」として下さい。 (令和6年10月25日 17:30までの受信分が有効)
- ・持参：藤井寺市役所 都市整備部 まち建設課 (46番窓口) までご提出下さい。